

# 傷ついた人を助けたい

## 大野 ヨリ

1884 (明治 17) 年 4 月 1 日—1957 (昭和 32) 年 8 月 2 日



にちろ せんそう じゅうぐんかん ご ぶ  
日露戦争の従軍看護婦

日本赤十字社富山支部病院看護婦長

ナイチンゲール記章を受章

### 私も看護婦になりたい

かみにいかわくん え がみむら げんかみいちまち  
上新川郡江上村 (現上市町) に生まれました。ヨリが10歳のとき日清戦争が始まりました。戦場で傷つい

た兵士を看護する「白衣の天使」に多くの若い女性があこがれ、ヨリも従軍看護婦を目指して1902 (明治 35) 年、日本赤十字社富山支部病院の看護婦養成所に入りました。

### 優れた看護婦として評価

養成期間を終えて、ヨリは日本赤十字社の看護婦に採用されました。その年の2月、日露戦争が始まると、ヨリは金沢城内にあった陸軍予備病院へ配属されました。ヨリはここで1年3か月にわたって、日本兵や捕虜を看護しました。

日露戦争が終わり、ヨリは日本赤十字社富山支部病院の看護婦となっ

て故郷に帰りました。ここでも患者を温かく看護し、それが認められて1919 (大正 8) 年に看護婦長に昇進しています。

こうした功績が評価され、1925 (大正 14) 年、ヨリに看護婦の国内最高賞であるナイチンゲール石黒記念牌が贈られました。また、1933 (昭和 8) 年には赤十字国際委員会から、看護婦として世界最高の栄誉であるナイチンゲール記章が贈られました。

### 夢や志をかなえたポイント!

- 目標の職業に就くために勉強する
- どんな相手にも温かく接する
- 人を助けるために自分ができるところを考える



1938 (昭和 13) 年当時の看護婦 (前列右端がヨリ) (日本赤十字社富山県支部『支部百年史』より)

**豆知識** 従軍看護婦は日清戦争で約 100 人が初めて派遣され、日露戦争では 2000 人を超えました。

※「看護婦」は、現在「看護師」と呼ばれています。